



2018年度フリースクール あおもりサニーヒル 事業成果報告書

[申請時名称「子どもの居場所『ひだまり』事業」
平成30年度社会福祉振興助成事業 モデル事業

特定非営利活動法人コミュニサーあおもり

もくじ	P.1
はじめに	P.2
事業概要	P.3
運営団体 NPO 法人コミュサーあおもりの紹介	P.3
運営団体 NPO 法人コミュサーあおもりの沿革	P.4
フリースクールとは	

あおもりサニーヒルについて

① あおもりサニーヒルの理念	P.5 ~ P.7
② あおもりサニーヒルの活動	P.10
③ 活動の様子	P.11 ~ P.14
④ スタッフの言葉	P.15
⑤ あおもりサニーヒルセミナーの報告	P.16 ~ P.30
⑥ 一年を振り返って	P.32

居場所づくりでの気づき	P.33~P.35
-------------	-----------

あおもりサニーヒルのとある生徒の成長記録

フリースクールあおもりサニーヒルへの相談からみる課題	P.36~P.38
----------------------------	-----------

寄付協力について	P.39~P.41
----------	-----------

あおもりサニーヒル連絡先	P.42
--------------	------

はじめに

少子高齢化、核家族化、人口減少等によって、人と人との繋がりが気薄になっている現代社会において、不登校や引きこもりは大きな問題であり、未来に向けて私たちが取り組むべき重要な課題の一つとなっています。しかし、そういった子どもたちの居場所は、特に地方ではまだまだ数少ないのが実情です。

子どもたちが無理なく安心して過ごすことのできる居場所として、青森県初めてとなる『フリースクール・あおもりサニーヒル』を開校しました。学校に行けなくても部屋に引きこもることなく、同世代の仲間との交流をはかり、社会と繋がる事が出来るサードプレイス。学校に戻りたい子は戻る力を取り戻す、どうしても学校に馴染めない子には新たな道を切り開く手助けの場所でもあります。

昭和のころのように、地域みんなで子ども達を育て上げることが、一番の地域育てであり、少子化や人口減少への対策にもなると考えます。これから大人になっていく子どもたちや子育てが不安な親御さんたちが、安心して子育てが出来るそんな地域でありたい。青森を元気にするために、いち住人として、子育ての先輩として、地域のお役に立てたら…そんな想いで立ち上げました。

『フリースクールあおもりサニーヒル』は暖かくて、開放的で、未来が見えてくる居場所です。

特定非営利活動法人コミュサーあおもり
理事長 西川 智香子



事業概要

「親子（特に不登校や不登校になりがちな児童、生徒を抱える家庭や、登校していても悩みや不安を抱える子とその親）が地域に繋がりをつくり、子育てにおいて孤立を防止すること」を目的に居場所づくりを行う事業です。

運営団体 NPO 法人コミュニサーあおもりの紹介

2013年 任意団体としてスタートし結婚支援活動を手掛けて参りました。活動の幅を広げるため、2015年 「特定非営利活動法人コミュニサーあおもり」を設立。県内の自治体から委託を受け、それぞれの町村の特徴をアピールしながら、参加する方が楽しめる以上にしっかりとサポートをする婚活イベントを開催してきました。

そういった活動の中で少子化や人口減少は大人の支援だけでは解決出来る社会問題ではない！と気づき、若い世代への支援に乗り出しました。地域全体で子どもや子育て世代の親への支援が大切であると考え2016年から思春期の悩み、不登校、いじめなどに悩む子どもたちやその保護者の居場所を提供する「ひだまりカフェ」事業をスタートさせました。さらに2018年7月にフリースクール「あおもりサニーヒル」を開校したところです。

私たちは、様々な密接に結び付いていると考えています。ですからそれぞれの問題や悩みを軽減することで地域住民の生活は変わる、個々が変われば社会も変わる、そう確信して活動を続けています。

私たちの住む青森がもっと元気になり、進学や就職で出て行った子供たちがまた返って来ることが出来る、帰って来たくなる、そんな青森にするための活動を、民間、自治体、行政など様々な連携を大事にしながら、これからも継続していきたいと考えています。



2019年3月現在「NPO 法人コミュサーあおもりホームページ」より

運営団体 NPO 法人コミュサーあおもりの沿革

- 2013年…… 任意団体コミュサーあおもり 設立
結婚支援活動をスタート
- 2015年…… 特定非営利活動法人コミュサーあおもり 設立
- 2016年…… ひだまりカフェ事業をスタート
- 2018年…… フリースクール「あおもりサニーヒル」を開校

フリースクールとは

●フリースクールとは…

フリースクールとは、不登校の子どもを受け入れることを主な目的とする団体・施設を指す。（文部科学省）

●フリースクールの役割

フリースクールは社会において「不登校の子どもたちの居場所」という役割を果たしています。運営は個人や民間の企業、NPO 法人などがあり、様々な規模や形態のフリースクールが存在します。

学校教育法上の公的な学校とは認められていないため、義務教育課程の子どもであれば、もともと通っていた小中学校に籍をおいたままフリースクールに通うことが通常です。

出席扱いとするかどうかは状況に応じて相談することになります。

あおもりサニーヒルについて

①あおもりサニーヒルの理念

子どもたちの未来のために

県内初のフリースクール「あおもりサニーヒル」は、子どもたちが無理なく安心して過ごすことのできる居場所です。学校に行くのが辛くなった時、家でぼつんと居るのがさみしくなった時、そんな時のためにサニーヒルはあります。

『サニーヒル』という名前は、私たちが開設して来た「ひだまりカフェ」と、イギリスにあるフリースクール「サマーヒル」に由来しています。ひだまりには、日差しが降り注ぐ縁側のように暖かな場所にしたいと思いが込められています。サマーヒルは世界一自由な学校と言われ、「自由を与えることで子どもたちは大きく成長する」という哲学をもって世界の教育界に大きな影響を与えてきたフリースクールです。

あおもりサニーヒルは、暖かくて、開放的で、未来が見えてくる…あなたの居場所です。

児童・生徒のみなさんへ

サニーヒルでの過ごし方は自分で決めることができます。

時間割はありますが無理することはありません。自習するのもOKですし、あなたが望むならプロの家庭教師や大学生ボランティアがサポートしてくれます。勉強以外にも、スタッフとお話したり、時には街を散策したり…。一人でのんびりしていても大丈夫です。

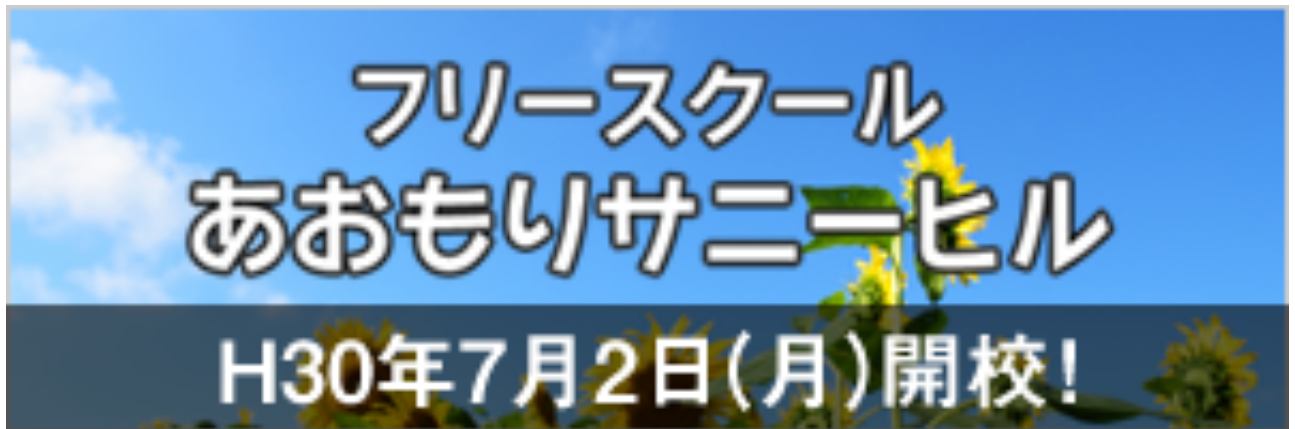
頑張れるときは頑張る、疲れたときは休む、それで良いのです。サニーヒルは自分のペース過ごすことのできるあなたの居場所です。

保護者の皆様へ

子どもの成長は親や家族にとって本当に嬉しいものです。でも、必ずしも順風満帆というわけにはいきませんよね。躓いたり、壁に突き当たったり、時には学校に行けなくなることも……。いじめや学力不振など、原因がはっきりしている場合はその対策が急務となりますが、近年は原因のはっきりしない不登校も多くみられます。俗に言う「疲れている」という状態です。

不登校の子は引きこもりになりがちですが、何らかの方法で社会との接点を持ち続けたいものです。フリースクールはその中のひとつであると考えてください。学校のような負担感は無いです。できるだけ制約の少ない状態から初めて、いずれは学校に戻れるようサポートします。また、どうしても学校になじめない方に対しては、新たな道を切り開く手助けをいたします。

2019.3月現在『あおもりサニーヒル』HPより抜粋



開設当時「あおもりサニーヒルHP」より



施設外観写真

2018年度は開校初年度という事で前事業よりお借りしています、店舗物件にて運営をさせていただきました。青森市中心商店街の中にあり、交通の便や商業施設があり人の通りやすい所にあり治安も非常によい場所です。施設正面には目隠しがされているので人通りが多い場所ですが周囲の目を気にしなくても大丈夫なように対応しています。

「あおもりサニーヒル」とは

養育のフリースクール「あおもりサニーヒル」は、子どもたちが無理なく安心して過ごすことのできる居場所です。学校に行くのが辛くなった時、家でぼつんと眠るのがさみしくなった時、そんな時のためにサニーヒルはあります。

サニーヒルという名前は、私たちが開設して来た「ひだまりカフェ」と、イギリスにあるフリースクール「サマーヒル」に由来しています。ひだまりには、日差しが降り注ぐ静かな場所にしたいと思いが込められています。サニーヒルは、世界一自由な学校と言われる「自由を与えることで子どもたちは大きく成長する」という哲学をもって、世界の教育界に大きな影響を与えてきたフリースクールです。

あおもりサニーヒルは、暖かくて、開放的で、未来が見えてくる…あなたの居場所です。

【事業内容】
フリースクールとは、授業の予定も受け入れもなす固定の時間・場所を持たず、1対1の学習やグループワークなどを通して、子どもたちの学びのペースや進捗を自由に調整し、1対1の指導を受けること。講師は大学卒業の経験豊富な教育者や、教育現場で活躍するフリーランスの教育者などから構成されています。また、保護者も授業のサポートや、子どもたちの学習のサポートを行うことができます。

児童・生徒のみなさんへ

サニーヒルでの過ごし方は自分で決めることができます。時間制ではありません。無理することはありません。自習でもOKです。あなたが望むような家庭教師や大学生ボランティアがサポートしてくれます。勉強以外にも、スタッフとお話したり、時には街を散策したり…一人でんびりしていても大丈夫です。

頑張るときは頑張る、疲れたときは休む、それで良いです。サニーヒルは自分のペースで過ごすことのできるあなたの居場所です。

保護者の皆様へ

子どもの成長は親や家族にとって本当に嬉しいものです。でも、必ずしも満足できるというわけにはいきません。真んたい、壁に突き当たったり、時には学校に行けなくなることを…。いじめや学力不振など、原因がはっきりしている場合はその対策が急務となりますが、近年は原因のはっきりしない不登校も多々みられます。他に言う「隠れている」という状態です。

不登校の字を引きこもりになりがちですが、何らかの方法で社会との接点を持ち続けたいものです。フリースクールはその中のひとつであると考えてください。学校のような典型的な無利無害な場になっていくので、できるだけ制約の少ない状態でゆっくりと、いっしょに学校に慣れるようサポートします。また、どうしても学校になじまない方に対しては、新たな道を切り開く手助けをいたします。



フリースクール あおもり サニーヒル

暖かくて
開放的で
未来が見えてくる…
あなたの居場所





フリースクール あおもりサニーヒル

青森市新町2-7-17 山二ビル1階
NPO法人コミュサーあおもり内サロンスペース

電話番号 080-5736-2442
FAX番号 017-752-0942
Email komyusa.hidamari@gmail.com
https://komyusa-hidamari.jimdofree.com/
※お電話がつかない場合はホームページよりお問い合わせください。

この事業は独立行政法人福祉医療機構の助成により実現しています。

あおもりサニーヒルでの すこしかた

自分のペースで過ごすことができます。

- 登下校**
自分の気分や体調に合わせて、都合の良い時間に登校・下校することができます。
- ゆったりタイム**
ウォーミングアップの時間です。方法は決まらず、自分で決めましょう。
- 個別学習**
基本的には学校の勉強に取り組む時間です。自習でも良いですし、スタッフに教えてもらうこともできます。勉強する気分でない場合はのんびり過ごしても構いません。
- お昼休み**
登校はお昼休みの時間の中で自由に取ってください。
- お掃除**
気持ちよく過ごすために自分でキレイにしましょう。

- 総合学習**
それぞれが今一番興味のあることに取り組みます。自由研究のような感じですが、テーマが見つからない場合は、一緒にテーマを見つけることからスタートしましょう。ものづくりをしたり、調べ学習をしたり、街の探検などに出かけたり、スクール外の講師の方が来ることもあります。
- 交流タイム**
お友達やスタッフとおしゃべりしたり、遊んだり楽しく過ごしてください。
- 軽食タイム**
夕方になるとお腹がすいてきますよね。みんなで用意して、皆と一緒に食べましょう。
- 放課後**
基本的に自由に過ごす時間です。下校しても構いませんが、もう少し勉強したい、本が読みたい、家に帰っても保護者が仕事で不在など、それぞれの理由で滞在してもOKです。

土曜日「ひまわり活動の日」
レクリエーション、自然とのふれあい、親子ふれあい活動、さらに自由に楽しめる日など

対象

不登校または不登校気味の児童・生徒を中心とした小学生(高学年)、中学生、高校生。
※ただし、通学に支障をきたすことがない場合は、ご遠慮いただくことがあります。

入校までのながれ

見学
↓
面接(親子)
↓
簡単な審査
↓
お手続き
↓
入校

見学について

入校の前に無料で見学ができます。「電話」または、ホームページの「お問合せフォーム」で次のことをお知らせください。
 ●希望日時(月・日、土・日10:00~18:00)で希望日時を確定してください。
 ●対象となるお子様の名前、性別、学年
 ●保護者のお名前
 ●当日の来校者(親子で来校/保護者のみで来校/子どものみで来校)
 ●居住地区
 ●メールアドレス
 ●電話番号(連絡のつくもの)

費用について

①通常コース(月・水・金、土曜日利用)
入校金:無料、月謝:15,000円/月
※平日11時以降は、入校金50,000円、月謝30,000円を予定しています。
※入校金と月謝は、入付金、登録費、欠席費、保険料、経費代等に充当します。
※通学期間中は別途、ご説明いたします。

②ひまわりコース(土曜日のみ利用)
入校金:無料、月謝:6,000円/月

あおもりサニーヒルの特長

<p>時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎自分のペースで好きな時間に登下校が可能 ◎登校は朝9時から…学校の登校時間とかわらない ◎滞在は夕方6時半まで…共働き家庭への対応 <p>すこしかた</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎自分の時間制は自分で決める ◎なにをしてもいい、なにもしなくてもいい 	<p>学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎自分のペースで勉強できる ◎教員OBやプロの家庭教師、大学生ボランティア等がサポート <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎似た環境や気の合う友達づくりができる ◎フレンドリーなスタッフ <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎夕方の軽食あり
--	---

「2018年度あおもりサニーヒルリーフレット」より

2018年度の開校時のリーフレットです。学校関係だけではなく行政や病院施設、民間の施設にも配布させていただきました。わかりやすく、そして具体的にフリースクールでできる事、やれる事などをご説明させていただいております。

②あおもりサニーヒルの活動

基本的な時間割は下記のとおりですが、キツイ場合はスタッフと相談しながら、自分のペースで過ごしてください。

時間	月	水	金	土
9:00 ~ 10:00	ゆったりタイム ウォーミングアップの時間です。方法は自由。			ひまわり活動の日 ・レクリエーション ・自然とのふれあい ・親子ふれあい活動 ・さらに自由に楽しめる日 など
10:00 ~ 10:50	個別学習 勉強の時間です。自分のペースで勉強しよう。			
11:00 ~ 11:50	個別学習 勉強の時間です。(数学・英語を教える先生が常駐しています。)			
12:00 ~ 13:00	お昼休み & お掃除			
13:00 ~ 15:30	総合学習 興味あるテーマを見つけ取り組もう。			
15:30 ~ 17:00	交流タイム 自由にコミュニケーションを楽しもう。			
17:00 ~ 17:30	軽食タイム お腹がすいたらみんなで用意しましょう。			
17:30 ~ 18:30	放課後 自由に過ごす時間ですが、下校しても残っても大丈夫。			

※時間と内容はその活動により変動する場合があります。祝祭日はお休みになります。

2019年3月現在「あおもりサニーヒルHP」より



●登校・下校

自分の気分や体調に合わせて、都合の良い時間に登校・下校することができます。

●ゆったりタイム

ウォーミングアップの時間です。方法は自由です。自分で決めましょう。

●個別学習

基本的には学校の勉強に取り組む時間です。自習でもいいですし、スタッフに教えてもらう

こともできます。勉強する気分でない場合はのんびり過ごしても構いません。

●お昼休み

昼食はお昼休みの時間の中で自由にとってください。

●お掃除

気持ちよく過ごすために自分でキレイにしましょう。

●総合学習

それぞれが今一番興味のあることに取り組みます。自由研究のような感じですが、テーマが見つからない場合は、一緒にテーマを見つけるところからスタートしましょう。ものづくりをしたり、調べ学習をしたり、街の探検などに出かけたり。スクール外の講師の方が来ることもあります。

●交流タイム

お友達やスタッフとおしゃべりしたり、遊んだりして楽しく過ごしてください。

●軽食タイム

夕方になるとお腹がすいてきますよね。みんなで用意して、皆で一緒に食べましょう。

●放課後

基本的に自由に過ごす時間です。下校しても構いませんが、もう少し勉強したい、本が読みたい、家に帰っても保護者が仕事で不在など、それぞれの理由で滞在してもOKです。

※時間割はあくまでも指標にすぎません。無理やらせたりする事や、本人が無理やり必要はないですのでご安心ください。

特 長

●時間

自分のペースで好きな時間に登下校が可能
登校は朝 9 時から…学校の登校時間と被らない
滞在は夕方 6 時半まで…共働き家庭への対応

●過ごし方

自分の時間割は自分で決める
なにをしてもいい、なにもしなくてもいい

●学習

自分のペースで勉強できる
教員 OB やプロの家庭教師、大学生ボランティア等がサポート

●交流

似た環境や気の合う友達づくりができる
フレンドリーなスタッフ

●その他

夕方の軽食あり



③活動の様子



自主学習の様子

色々なおはなしもいっ
ぱいしました。

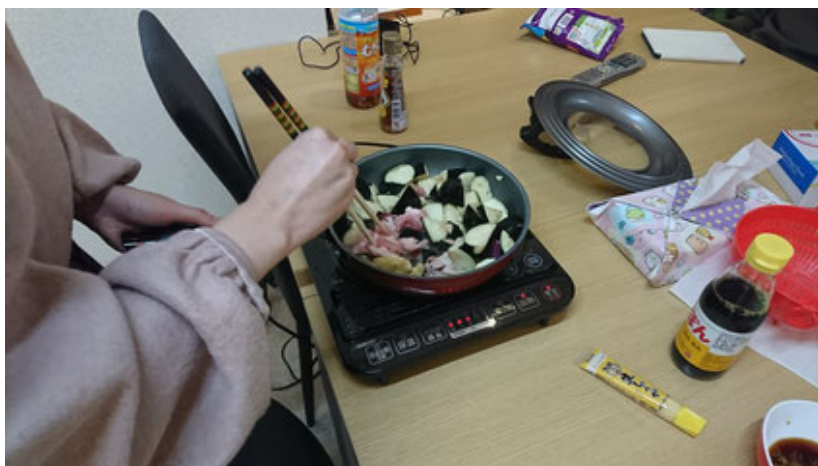


ボランティアスタッフ
のお兄さんと
ゲーム中



みんなトランプでコミュニケーション好きなんです！

生徒が先生になってフェルトでぬいぐるみを作りました！



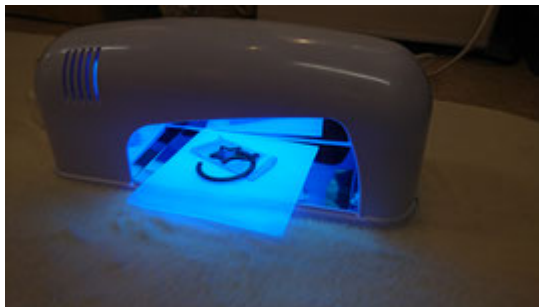
いただいたIHコンロで生徒自身が料理をしました。

いただいたりんご
おいしかったです(^▽^)/





クリスマス
ケーキを作りました！



得意な生徒が先生に
なってみんなで楽し
みました！

学生ボランティアたちと
むかしながらのゲームも
たのしみます！





生徒の企画で
年越しそばもみんな
で作りました！

あつあつのおそばは
とても美味しい！



みんなの笑い声がひびく場所！

④スタッフの言葉

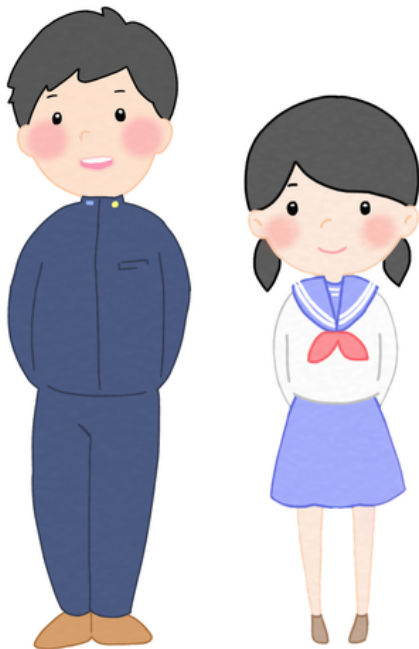
立ち上げから参加させていただきましたが、本当に色々な事を学ばせてもらいました。最初は皆おそろおそろという感じでした。

環境の変化に対応できない、友達とうまく付き合えない、勉強についていけないなどなど…。様々な子供たちに自分なりに向き合おうと思いました。そして時間を重ねていくにしたがって、どの子もとても素晴らしい才能と感性を持っていることがわかりました。

学校に行きたい子、行きたくない子、行けない子…。小学生の子、中学生の子、高校生の子…。男の子、女の子…。全然OKじゃないですか！色々いたほうが面白いですしね！

ある子が言っていました。「私たちは明るい不登校なんです！」って。私は教員ではありませんが、この子供たちの可能性は明るいのだと信じています。そして、大人が子どもの成長を信じ、本気で向き合えるか大事なんだと学びました。

まだまだ一年目の若いフリースクールですので、地域の皆様や民間の企業様、行政の皆様のご協力がなければサニーヒルは成り立ちません。親御様も含めて地域全体で子供たちを見守り育てていきたいものです。



あおもりサニーヒルセミナーの報告

2018年度「あおもりサニーヒル」で行われたセミナーの活動報告をさせていただきます。集計結果とアンケートのコメントを開催順にご紹介させていただきます。

2018年06月17日（日）サニーヒルセミナー

「不登校に対する理解と対応～子供とかかわる立場から～」

あおもりサニーヒルセミナー

不登校に対する 理解と対応

～子どもと関わる立場から～

フリースクール「東京シューレ」に通う生徒の様子や現状、そこから見える課題や子どもたちとの向き合い方を、実務の立場からお話しいたします。

2018.6.17日
13:00～15:00 (12:30受付) **参加無料 定員20名**
会場／青森県総合社会教育センター4階

**学校法人東京シューレ
事務局長・理事 中村 国生 氏**

NPO法人東京シューレ事務局長、フリースクール東京シューレ王子スタッフ、学校法人東京シューレ学園理事。1992年から東京シューレに参加。1999年NPOの法人化、2006年学校法人東京シューレ学園設立を担当。フリースクール全国ネットワークにおいては政策提言を担当。2012年設立の「多様な学び保障法を実現する会」事務局長として「教育機会確保法」の立法運動を推進。パナソニックNPOサポートファンド子ども分野選考委員。

「東京シューレ」とは？
学校外の学び・成長の場で受け入れは、6歳(小1)～20歳まで(在籍23歳)。
①ほっとできる居場所
②やりたいことを応援する
③自分で決めることを大切に
④子どもたちで創る
⑤違いを尊重する
子ども中心の場・学び・教育を創っています。

**フリースクール
あおもりサニーヒル**
県内初のフリースクール「あおもりサニーヒル」は、子どもたちが無理なく安心して過ごすことのできる居場所です。学校に行くのが辛くなった時、家でぼつんと居るのがさみしくなった時、そんな時のためにサニーヒルがあります。「あおもりサニーヒル」は、暖かくて、開放的で、未来が見えてくる…あなたの居場所です。

【主催・お問い合わせ】フリースクール「あおもりサニーヒル」(運営:NPO法人コミュサーあおもり)
☎080-5736-2442【月・水・金10:00～18:00】〒030-0801 青森市新町2-7-17山ニビル1階
<https://komyusa-hidamari.jimdofree.com/> ✉ komyusa.hidamari@gmail.com

独立行政法人福祉政策推進機構
社会福祉政策推進事業
この事業は独立行政法人福祉政策推進機構の助成により実施しています。

2018年6月17日(日) サニーヒルセミナー

「不登校に対する理解と対応～子供とかかわる立場から～記録写真」より



アンケート集計

1. 参加者の属性について伺います。

男性 11名

女性 10名

年代 ~30代 5名

40代 12名

50代 4名

60代 3名

無回答 0名

2. セミナーの内容全般について、ご満足いただけましたか。(4 択)

とても満足 18 名
 満足 4 名
 やや不満 0 名
 不満足 0 名

2	セミナーの内容全般について、ご満足いただけましたか？ (自由記述)
	法改正についてなどの資料がまとめられていてありがたかったです。
	不登校になった子の心理状況を理解できたため、法律についても知れてよかった。
	中村先生のお話、とても勉強になりました。法律も知れて良かったです。
	何を考えるべきかが、明確になった。
	子ども、人を尊重する考え方に深く感銘いたしました。
	フリースクールを行っている中村さんの考え方や子どもたちとの関りについて聞くことができました。
	法律のことを初めて知りました。もっと早くに知っていれば、、、。
	全国の動向がわかりました。
	フリースペースを仲間と始めたばかりなので、対応や法律など活かせる学びになりました。
	息子が不登校で悩んでいて、とても共感できる所があり、話が聞けて良かったです。

3. セミナーに参加したことで必要な知識や改善策を考えることができましたか。(4 択)

とてもそう思う 14 名
 そう思う 10 名
 そう思わない 0 名
 全く思わない 0 名

3	セミナーに参加したことで必要な知識や改善策を考えることができましたか。 (自由記述)
	色んな生き方があること、子供にも一人の人間としてみるのが大切。
	行政の役割、社会課題について考えられた。
	学校内の不登校のイメージの払拭をしたいと思うが、難しいだろうと感じたため。
	柔軟な視点を学ばせていただき、今後の大事な視点にしたいです。
	フリースクールに関する知識を知ることができました。
	不登校のお子さんの思いに寄り添うということがわかりました。
	現在はじめている活動に肉付けする機会になりました。
	来て良かったです。

4. セミナーに参加後、家族で話す機会が増える等、親子関係に良い変化が期待できそうですか。(4 択)

とてもそう思う 8名

そう思う 13名

そう思わない 0名

全く思わない 1名

4	セミナーに参加後、家族で話す機会が増える等、親子関係に良い変化が期待できそうですか。(自由記述)
	参加者に親か子がいることを前提としてイベントが開かれていたとは知らずに来ました。いないので期待できません。
	元から家族関係良好なので、そのままだと思います。
	家庭が「安全な場所」であること。原点、学びの場であることを学んだことから。
	不登校に対する法律の変化を初めて聞くことができました。
	全国大会に参加してみたい(親子でも)と思いました。
	息子も興味を持っているので。

5. 今後展開される「あおもりサニーヒル」の活動について知りたいと思いますか。(4 択)

とてもそう思う 16名

そう思う 6名

そう思わない 0名

全く思わない 0名

5	今後展開されるフリースクールあおもりサニーヒルの活動について知りたいと思いますか。(自由記述)
	相談事業をしているので、情報としては知りたいと思います。
	支援できることが増えるのであれば、もっと知りたいと思ったため
	とても興味があります。地域に根付いてほしいです。
	今回のようなフリースクールに関するセミナーで聞きたいと思いました。
	とても期待しています。何かお役に立てることがあれば
	必要な人に情報を届けたいと思います。
	子供が不登校なので、適応教室に通っています。
	入りたいと思っています。

6. 不登校への取り組みに関する活動の情報を得たいとき、どのような媒体を用いて情報収集しますか。該当するものにすべてチェックを入れてください。(複数回答可)

テレビ 7名
 ラジオ 2名
 新聞 9名
 雑誌 1名
 専門書 4名
 講演会 8名
 Web サイト 15名
 SNS 8名

6	不登校への取り組みに関する活動の情報を得たいとき、どのような媒体を用いて情報収集しますか。該当するものにすべてチェックを入れてください。 (自由記述)
	大学からの照会

7. その他、参加したことによる良い変化がありましたら教えてください。

7	その他、参加したことによる変化がありましたら教えてください。 (自由記述のみ)
	今のままで良い。問題でないことがわかりました。
	子供が支える心構えとを再認識できました。
	今のとことありません。
	「その都度生き方を選択していく」、心に響きました。 DVD で拝見した子供たちの笑顔、とっても素晴らしく感動いたしました。
	フリースクール(居場所)は必要。不登校児とどうつなぐかが問われますね。
	私も前に進むきっかけとなりました。
	子供を受け止めることの深さを考えました。
	家庭が基本で、大事だと再認識できました。少しずつ不登校は問題ではない事を、家庭・学校へ広めていきたいと思いました。
	希望が持てます。

2019年09月16日(土) サニーヒルセミナー

「戸惑いから行動へ～我が子が不登校に～」

あおもりサニーヒルセミナー

戸惑いから 行動へ

～ 我が子が不登校に～
今こそ語る「あの時」の心境

2018.9.16日

13:30～15:00 (13:00受付) **参加無料
定員20名**

会場/ラ・プラス青い森 3F「プリムラ」



八戸あおば高等学院・学院長
類家 順子 氏

高校生、中学生、小学生の3人の子どもが、次々に不登校、中退に。進路、転校先を探し求めて奔走するが様々な困難が…。一方で、仕事では10代から50代の未就職者最大70名の就職支援を行っていた。その経験からも「一般的な学校ではない第三の選択肢」としての学校が必要と確信し、青森県初の「通える通信制」として平成25年10月、八戸あおば高等学校を開設。不登校の生徒や中退者を積極的に受け入れている。

 フリースクール
あおもりサニーヒル

県内初のフリースクール「あおもりサニーヒル」は、子どもたちが無理なく安心して過ごすことのできる居場所です。学校に行くのが辛くなった時、家でぼつんと居るのがさみしくなった時、そんな時のためにサニーヒルがあります。「あおもりサニーヒル」は、暖かくて、開放的で、未来が見えてくる…あなたの居場所です。

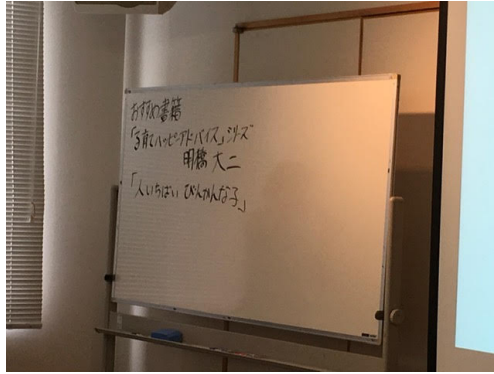
【主催・お問い合わせ】フリースクール「あおもりサニーヒル」(運営:NPO法人コミュサーあおもり)
☎080-5736-2442【月・水・金10:00～18:00】〒030-0801 青森市新町2-7-17山二ビル1階
<https://komyusa-hidamari.jimdofree.com/> ✉ komyusa.hidamari@gmail.com



この事業は独立行政法人福祉医療機構の助成により実施しています。

2019年09月16日(土) サニーヒルセミナー

「戸惑いから行動へ～我が子が不登校に～記録写真」より



アンケート集計

1. 参加者の属性について伺います。

男性	2名
女性	14名
年代	～30代 3名
	40代 7名
	50代 5名
	60代 0名
	無回答 0名
属性	保護者 11名
	学生 0名
	教育関係者 0名
	その他 1名

2. セミナーの内容全般について、ご満足いただけましたか。(4 択)

とても満足 9名
 満足 5名
 やや不満 1名
 不満足 0名

2	セミナーの内容全般について、ご満足いただけましたか？ (自由記述)
	自分と同じ状況の方がいるかと思うと少し安心もありました。
	なかなか聞くことができないフリースクールについての詳しいお話を伺えて、自分らしく生きること、生きづらさについて考えさせられました。
	人に対する視線が本当に柔らかく温かい類家講師の人間性に触れることができました。
	社会性を身につけるのは…というところ、そう思っています。
	セミナーの内容はとても共感する所が多く、本当に来てよかったです。
	話が分かりやすかった。
	とても詳しく、面白おかしく辛いお話しをしていただき楽しく聞かせていただきました。
	とても満足ですが、もっと先生のお話が長くてもよかったです。
	仕事の話が多かったの、最後のまとめあたりを長く聞きたかった。

3. セミナーに参加したことで必要な知識や改善策を考えることができましたか。(4 択)

とてもそう思う 9名
 そう思う 7名
 そう思わない 0名
 全く思わない 0名

3	セミナーに参加したことで必要な知識や改善策を考えることができましたか。 (自由記述)
	コミュニケーションのあり様
	色々考える事ができ、ありがたかったです。うちの子は次男さんと似ているかなと思いました。
	“やらなかった後悔は死ぬまでひっぱる”という話を聞いて後悔のないように考えていきたいです。
	後々に役立てればよいなと思っています。
	参考になりました。
	子どもでも大人でも、コミュニケーション出来る事が大事だと。

4.セミナーに参加後、家族で話す機会が増える等、親子関係に良い変化が期待できそうですか。(4 択)

- とてもそう思う 7名
- そう思う 6名
- そう思わない 2名
- 全く思わない 0名

4	セミナーに参加後、家族で話す機会が増える等、親子関係に良い変化が期待できそうですか。(自由記述)
	母として子を思うあまり、不登校を早く解決させたい気持ちを本人にぶつけてしまっていました。類家先生のように気持ちを明るく切り替えできたらと思います。
	わかりません。
	自分自身子どもに対してプレッシャーを感じる言葉を言っているかもしれません。
	あまり、家の事情には当てはまらない。

5.今後展開される「あおもりサニーヒル」の活動について知りたいと思いますか。(4 択)

- とてもそう思う 6名
- そう思う 8名
- そう思わない 1名
- 全く思わない 0名

5	今後展開されるフリースクールあおもりサニーヒルの活動について知りたいと思いますか。
	小3～不登校 現在中2
	子どもは思いどおりにはいかず、悩んでいますますが繋がりが持てればいいなと思います。
	セミナーの日時がわかれば参加したいと思います。
	場所が通いにくいのでごめんなさい。

6.不登校への取り組みに関する活動の情報を得たいとき、どのような媒体を用いて情報収集しますか。該当するものにすべてチェックを入れてください。(複数回答可)

テレビ 7名
 ラジオ 1名
 新聞 7名
 雑誌 4名
 専門書 6名
 講演会 9名
 Web サイト 9名
 SNS 6名

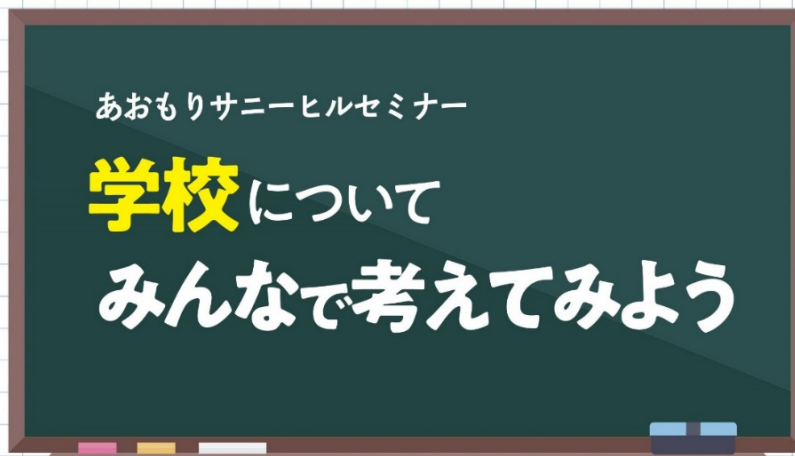
6	不登校への取り組みに関する活動の情報を得たいとき、どのような媒体を用いて情報収集しますか。該当するものにすべてチェックを入れてください。 (自由記述)
	何でも関連する媒体であれば見つけて参考にしています。
	先生や、近所の友達など。

7.その他、参加したことによる良い変化がありましたら教えてください。

7	その他、参加したことによる変化がありましたら教えてください。 (自由記述のみ)
	物事の捉え方が柔軟である事の大切さにあらためて気づかされました。
	私は毎朝、学校に出欠の連絡をするのが苦痛です。欠席しますというのが重いです。
	とても貴重な話が聞けたので、よかったです。ありがとうございました。
	参加者がたくさんいることで安心しました。
	不登校に関心のある方、悩まれている方、仲間がいることに安心しました。
	とてもためになりました。貴重なお話ありがとうございました。
	子の不登校で、とまどい不安で落ち込んでいましたが先生のお話を聞いて頑張ろうと思いました。
	講演後の個別相談等があればうれしいです。
	私の他にも、参加した人が多数いて不登校について何かしら知りたいことがある方が結構いるのだと思い、更に気持ちが楽になりました。

2019年01月26日(土) サニーヒルセミナー

「学校についてみんなで考えてみよう」



一人ひとりをかけがえない「個」として育む教育を目指して設立された「自由の森学園高等学校」の校長・新井達也さんをお招きし、理念や教育方針・現状について、お話いただきます。そこから見える課題や対処方法、「自由の森学園高等学校」での子どもたちとの向き合い方を参考にしながら、改めて「学校」について一緒に考えてみませんか？

2019.1.26^土

13:30~16:00 (13:00受付)

参加無料
定員40名

会場/ラ・プラス青い森 4F「ル・シエル」

対象:不登校でお悩みの保護者、教育関係者、関心のある一般の方



自由の森学園高等学校・校長

新井 達也 氏

1985年の創立時より社会科教員として自由の森学園中学校高等学校に参加。子どもたち一人ひとりの知的好奇心や問題意識、そして表現することを大切にした社会科の授業づくりをすすめてきた。自由の森学園高等学校の独自のカリキュラムには、100を超える選択講座が用意されており、その中でも、「世界の学校研究所」「福祉の現場へ」などのユニークな講座を担当し、子どもたちとともにさまざまな学びの可能性を追求している。2008年度から高等学校の教頭、2013年度から校長に就任し現在に至る。

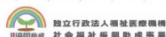


県内初のフリースクール「あおりサニーヒル」は、子どもたちが無理なく安心して過ごすことのできる居場所です。学校に行くのが辛くなった時、家でぼつんと居るのがさみしくなった時、そんな時のためにサニーヒルはあります。「あおりサニーヒル」は、暖かくて、開放的で、未来が見えてくる…あなたの居場所です。

【主催・お問い合わせ】フリースクール「あおりサニーヒル」(運営:NPO法人コミュサーあおり)

☎080-5736-2442【月・水・金10:00~18:00】〒030-0801 青森市新町2-7-17山ニビル1階

<https://komyusa-hidamari.jimdofree.com/> ✉ komyusa.hidamari@gmail.com



この事業は独立行政法人福祉医療機構の助成により実施しています。



2019年01月26日(土) サニーヒルセミナー
「学校についてみんなで考えてみよう記録写真」より



アンケート集計

1. 参加者の属性について伺います。

男性 7名
 女性 9名
 年代 ~30代 2名
 40代 6名
 50代 4名
 60代 3名
 無回答 2名
 属性 保護者 6名
 学生 0名
 教育関係者 10名
 その他 3名

2. セミナーの内容全般について、ご満足いただけましたか。(4択)

とても満足 10名
 満足 7名
 やや不満 0名
 不満足 0名

2	セミナーの内容全般について、ご満足いただけましたか？ (自由記述)
	進学の実験が少なくして仕方なく高校を選ぶ状況なのでこういう学校を知れてよかったです。
	質疑応答の時間がもう少しあればよかったです。
	講演内容に満足しました。
	人間愛に満ちていると思った。先生と生徒という内容を越えたものだと思う。
	色々なあり方があるのだと、それを実際に行われている場所があるという事が知れた。ありがとうございました。
	内容がわかりやすかった。内容が明るい話題であった。
	耳にはしていた学園の具体的な、しかも実際に携わっている方のお話しは説得力がある。
	自由の森学園の具体的な取り組み、具体的な子どもの姿が見れて感銘を受けた。

3. セミナーに参加したことで必要な知識や改善策を考えることができましたか。(4 択)

とてもそう思う 4名

そう思う 12名

そう思わない 1名

全く思わない 0名

3	セミナーに参加したことで必要な知識や改善策を考えることができましたか。 (自由記述)
	自分の子供の進学の選択肢として考えられました。
	自由の森学園の教育方針に興味を湧きました。
	きっかけになった。
	及ばずながら自分が考えてきた、実践してきたことと一致する。今、益々そう思う。
	子どもを主体とした学び、授業改善に全教職員で取り組んでいきたい。

4. セミナーに参加後、家族で話す機会が増える等、親子関係に良い変化が期待できそうですか。(4 択)

とてもそう思う 4名

そう思う 12名

そう思わない 1名

全く思わない 0名

4	セミナーに参加後、家族で話す機会が増える等、親子関係に良い変化が期待できそうですか。(自由記述)
	娘に「こういう学校もあるんだよ」と自由さを教えてあげられそうです。
	講演内容を話題にしたいと思います。
	今、関わっている子どもたち、父母の方々と共に学びあいたいと強く思う。

5. 今後展開される「あおりサニーヒル」の活動について知りたいと思いますか。(4択)

- とてもそう思う 5名
- そう思う 10名
- そう思わない 0名
- 全く思わない 0名

5	今後展開されるフリースクールあおりサニーヒルの活動について知りたいと思いますか。
	私の子供も不登校をしたことがあり、ただの主婦ですがサニーヒルのような場所を作りたいと思っていました。
	今後とも連携できるようお願いいたします。(居場所づくり)
	今、学校は子どもたちにとって“生きづらい”ところだと思っているから。
	学びの場所・居場所として連携しあえる関係でありたい。

6. 不登校への取り組みに関する活動の情報を得たいとき、どのような媒体を用いて情報収集しますか。

該当するものにすべてチェックを入れてください。(複数回答可)

- テレビ 5名
- ラジオ 2名
- 新聞 4名
- 雑誌 4名
- 専門書 7名
- 講演会 6名
- Web サイト 10名
- SNS 8名

6	不登校への取り組みに関する活動の情報を得たいとき、どのような媒体を用いて情報収集しますか。該当するものにすべてチェックを入れてください。 (自由記述)
	今現在はしていませんが、教育関係団体とずっと関わっています。

7. その他、参加したことによる良い変化がありましたら教えてください。

7	その他、参加したことによる変化がありましたら教えてください。 (自由記述のみ)
	貴重な機会をいただきありがとうございました。
	「自由の森学園」を知りたくて参加させていただきました。良かったです。
	子どもたちの可能性を信じたい。見守っていきたい。
	いずれサニーヒルを訪れたいと思っています。
	自分自身の不登校課題、不登校研究につなげていきたい。ありがとうございます。

⑥一年を振り返って…

今年度県内初となるフリースクール（準備室）事業を行ってみて、各メディアからのお問い合わせや、取材をたくさんいただきました。TV出演、ラジオ番組出演、新聞掲載、インターネット情報等、本当にたくさんの方へ情報の発信でのご協力いただきました。

開校前からの問い合わせも多数あり、本当に青森県に必要な事業であったと考えさせられました。開校初期は「お試し期間」と称し、本当にフリースクールが自分に合っているかを考えてもらう時間をつくらせていただきました。現在も「お試し期間」は継続中で、これからフリースクールを考えていらっしゃる親子様にはちょうどいいかもしれません。

リーフレット、ホームページに載せている時間割はあくまでも指標にすぎませんので、時間割通りに必ずやらなければいけないという事はしていません。ですが、利用している子どもたちは時間が来れば自ら自習したり、パソコンを使って勉強したり、学校からもらってきた予習・復習プリントをスタッフが言わなくてもやってくれています。

勉強が大事なことは大人が教えなくても子どもたちはちゃんと知っています。その際にわからないところや、疑問に思った事はスタッフも他の子どもみんなと一緒に考えます。勉強を教えてくれる先生はいますが基本的にみんなが先生のような感じです。

たまに、子どもたちから「料理を作りたい」とか「卓球をしたい」といつもと違う事がしたいと、リクエストが来たりします。その場合は参加する人を決めてみんなで取り組みます。もちろん、参加したくない人は参加しなくていいのです。大体はふわっとみんな参加しています。

季節のイベントは子どもたちから「ハロウィンの飾りつけしないの?」とか「クリスマスはケーキつくろうよ!」とか「年越しはそばが食べたい!」などもありました。みんなで話し合ったりやりたいイベントは、ささやかですがちゃんとできました。

みんなが良い方向にということばかりでもない時もありました。フリースクールに来れる子どもたちが増えたら、逆に通えなくなってしまった子もいました。相談は来たけれど、あまりにもお家から遠くて通えなくて断念した子もいました。経済的に通うことが難しくなり、来れなくなってしまった子もいました。

「みんなのフリースクールって何だろう?」、「みんなの希望はかなえられないのだろうか?」と何かいい方法はないか、色々な方々に聞き勉強をしました。これはフリースクールが続く限りなくならない課題なのだということも知りました。それでもやり続ける事で一つひとつ課題をクリアする事が必要なのだと感じています。

時間のある限り、行政の方々との連携や学校の訪問もさせていただいています。よく勘違いをされる方がいるのですが、フリースクールは学校に代わる「第3の学びの場所」と位置付けられますがそれだけが目的ではないと思います。学校と一緒に考え、連携し、動くことで変わる子どもたちはいます。フリースクールに来る事で新たな目標を見つけ、高校受験に合格し行けた子もいます。高校を辞めた子もいますが、自分で「高校認定試験を受ける」としっかりした目標があります。学校をやめても、人生をやめたわけではありません。学校に行けないなら、学校じゃないところで勉強や社会勉強をすればいいだけなのです。

青森県のフリースクールはまだ始まったばかりです。地域の皆様と一緒に考え、行動することがとても大事ですので今後もよろしくお願いします。

居場所づくりでの気づき

あおもりサニーヒルのとある生徒の成長記録

参与観察法によるフリースクールにおける利用者の心的変化および学習
行動の変容に関する質的分析

小笠原 浩一¹・成田 智仁²

要約

7～9月期

心理的な変化

周囲に良く見られたいという意識が強く、うまく対応できないような事態に陥ると慌ててしまい、冷静な判断ができなくなる傾向がある。このことを頭では理解しているが、実践レベルではまだ変化は見られない。

認知の歪みが多々見られるが、客観視を促すことで改善しているように感じられる。自分がコントロールできないことも自分の責任に帰属させようとする児童思考については、ある程度矯正できているようで、不登校になった経緯やその結果についてはかなり冷静に語れるようになっている。

学習面の変化

プライドが高く、完璧主義的傾向があるため基本的に0か100かの思考。ここに来る以前は高等学校卒業程度認定試験の勉強を独学でやるも、勉強のし過ぎに加えて、思ったほど理解できないことへのストレスから挫折している。

ここに通うようになってからはやり過ぎにならないよう、とにかくセーブすることを心掛けさせる。最初は最も自信がないという世界史から始める。二ヵ月を過ぎたあたりから多少余裕が出てきたので数学を試してみる。今のところ特に問題がないから、現在は世界史と数学を同時並行で学習中。このまま問題が生じなければあと1、2教科追加しても良いと考えている。

¹あおもりサニーヒル現場主任

²あおもりサニーヒル講師

学習面における注意点

細かい所に拘り過ぎる。全て覚えようとするため非効率。一回で覚えるのではなく、回数と回転率で勝負するよう指導中。理屈としては理解できているようで、今のところ反発もなく実践中。間違ふことを非常に恐れるため、式を途中まで書いても全部消してしまう悪い癖がある。間違っても大丈夫なこと、間違いも残しておくことで気づきにつながるのであえて残すことなどを根気強く指導している。

10～12月期

心理的な変化

この頃になると、様々な感情が表出するようになる。怒ったり泣いたり落ち込んだりといった感情を見せるようになるが、そのことを恥と思っている節があり、幼稚な自分を直したいと漏らすことが何度かあった。一方で、くだらないことで笑い合い、あれしたいこれしたいという要望を口にさせるようになったり、これまで話さなかった人と積極的にコミュニケーションを図ろうとしたりと前向きな行動も目立ち始める。他者との交流を通して自己を見つめ直しており、その時々々の状況を言語化し客観化する作業が進んでいる。

学習面の変化

これまでセーブしていた勉強を段階的に開放する。数学は年末年始に自主的に学習計画を立て実行に移しており、達成率も120%と素晴らしい出来。それに加えて英単語の学習もしている。将来に対する不安と焦りからの行動であると推測されるが、以前のようにやり過ぎて自分を追い詰めるということではなく、勉強量を上手くコントロールできている。自分の勉強だけでなく、仲間の勉強についても気を配っている。しばしば一緒に勉強しようと誘ったり、逆に誘いには快く応じたりと、互いの成長を意識している様子が窺える。また、間違いをそのままノートに残しておくことができるようになっており、認知の歪みが少しずつ改善されている。

学習面における注意点

集中の深さはかなりのものがあるが持続力がなく、2時間以上はまだ難しい。休憩しても再度勉強できるほどの回復に至らず、体力はまだ十分とは言えない。本人もそれを気にしているが、持久走の訓練と同じで劇的に向上するものではなく緩やかに上昇していくものだ、ということ丁寧に説明している。

1～3 月期

心理的な変化

将来に対する不安が払拭されたわけではないが、以前のようにただただ不安に駆られるということではなく、「目の前のことに一つひとつ対処していくしかないのだ」と自ら口にするようになり、劇的な変化を見せる。また、不登校になる前後にあった出来事に対する感情をしっかりと受け止め直すことができおり、他人からの承認を素直に受け止め自己肯定できるまでに至っている。

学習面での変化

資格の勉強に着手する。これと決めたら行動が非常に早く、教材の取り寄せから課題の提出まで迅速に処理している。また、高等学校卒業程度認定試験や資格とは無関係にこつこつと英語の勉強をしており、将来に備えようという気力が十分である。新しいことに挑戦しようという意欲もあり、これまで全く興味を示してこなかった IT 関係の勉強をしようという動きが見られる。ただし、こちらは独りではというわけにはいかないようで、誰かと一緒なら勉強してみたいということのようだ。

学習面における注意点

完璧主義的傾向は未だ根強く、英単語の暗記も適当に直すことができず効率の悪さが眼立つ。それによって余計な疲れが生じており、集中力の持続に難がある。また、できることへの自己肯定感よりも、できないことへの劣等感が強く、これも勉強の非効率を助長している。300 問中 2, 3 問しか間違っていないのにいつまでもその間違いの方に意識が向いてしまい、なかなか自己肯定に繋がらない。正解できている問題であっても回答に時間がかかるとそれも許せないようで、常に不満を漏らしながらも勉強している。この認知の歪みのせいで高等学校卒業程度認定試験の勉強を断念しているという過去があるため、今は良くて後々問題になってくる可能性が高い。認知行動療法を取り入れるなどの工夫が必要と思われる。

「あおもりサニーヒル業務日誌」より抜粋と編集

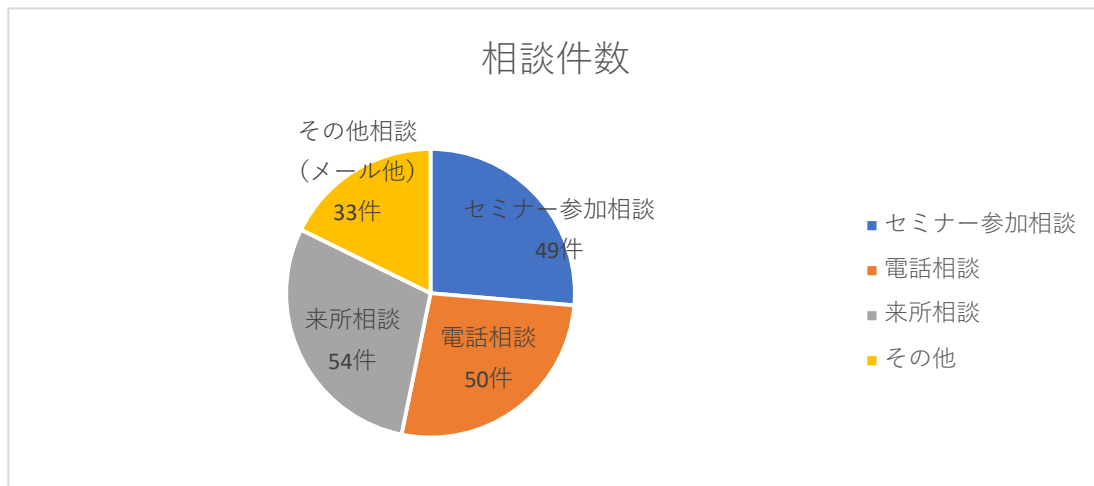
フリースクールあおもりサニーヒルへの来所相談からみる課題

2018年7月～2019年3月

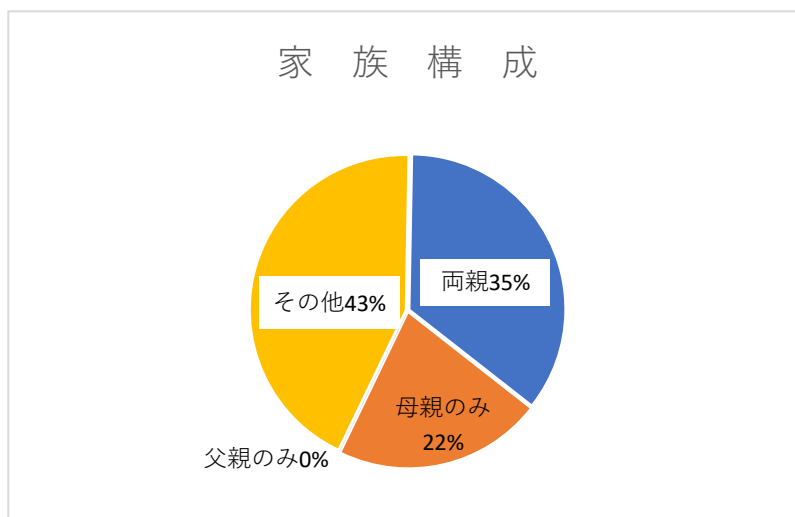
2018年7月～フリースクール準備室を開設。保護者・児童による様々な来所相談を2019年3月までの件数と統計・統計から出てきた意見・今後の展開を考える。

1 統計調査

A 来所相談件数 2019年3月までのフリースクール来所相談件数の内訳



B.来所相談家族構成



*家族構成

両親 36件

母親のみ 22件

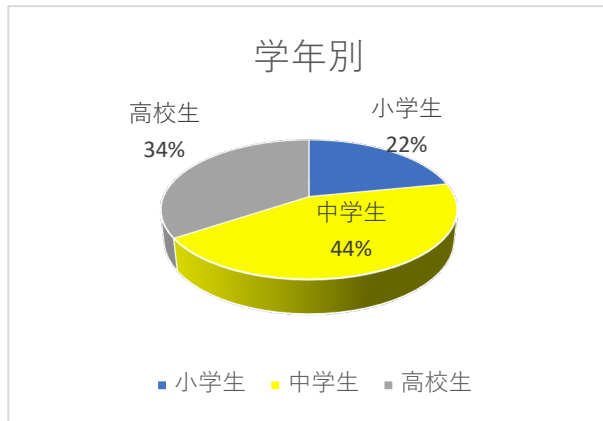
父親のみ 0件

その他 34件

(その他に関しては祖父母、
親族等である。)

この結果に対して、
来所相談比率を
表している。

C.学年別総数・男女比



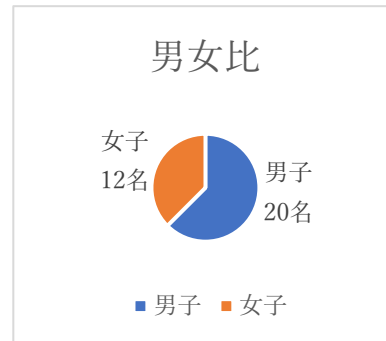
*学年別

小学生 3件

中学生 12件

高校生 11件

この結果に対しての
全体学年別比率を表している。



2. 統計から出てきた意見

集計数値上でわかるように中高生の割合が高く、相談の半分は中学生の相談・問い合わせが大半を占めています。

親及び親族による相談から…

- 出席単位としてフリースクールは認められているか？
- 塾のように学校での宿題や勉強の補習ができるのか？
- 高校の単位取得は可能なのか？

などの現在の在籍している中学・高校とのつながりや出席単位取得など、学校の卒業資格や進学につながる方策を模索しているものと考えられます。

一方、児童からの意見…

- ◇ フリースクールが学校のような堅苦しい場所でないことを望む
- ◇ 自由な考え方や学びの選択を与えてほしい
- ◇ 不登校なのは別に理由はない、もしくは自分でもわからない

など学業や資格、出席などの現在普遍とされていることが合わない、または自分に合った選択肢を優先させたいという思春期に見られる自己の欲求願望が強く浮彫りにでていることが顕著になっていると思います。

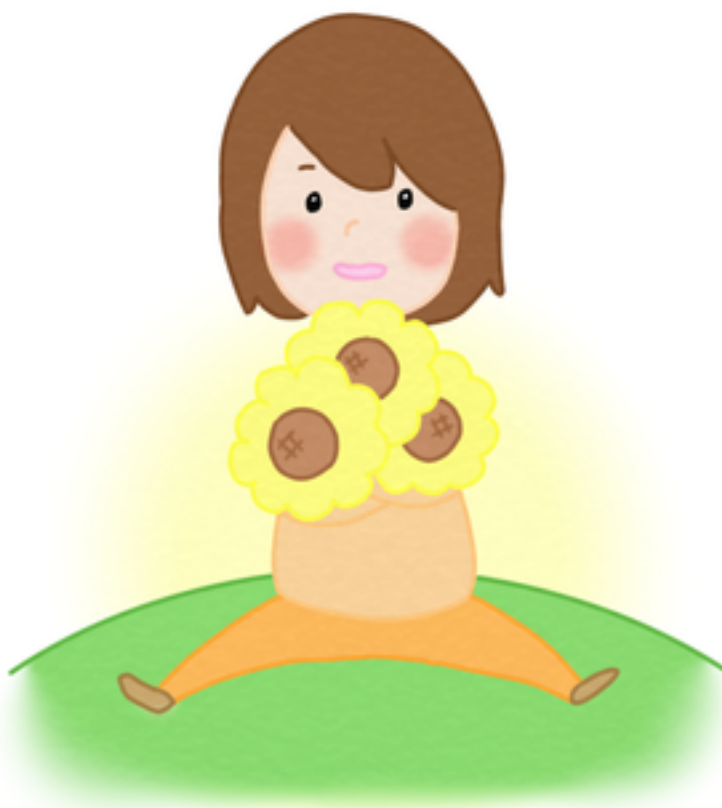
地域住民からの相談困りごとから見てきたこの「不登校問題」を「問題」としてではなく地域の「課題」として行政・教育の立場ではない我々民間が現在の教育システムの補てん・サポート・バックアップの立ち位置として尽力したいと考えています。

3. 今後の展開

現在のフリースクール準備室では我々が考える現状での限界点と課題が出てきています。

- 児童の状況を見極めた対応と無理のないカリキュラム作り
- 行政・教育機関等との綿密な情報共有と学校への周知活動強化
- 児童の学校復帰や資格取得に関する専門分野を発展させる
- 助成金に頼らない自立したサイクルを持つ運営方法

今後、優先的に取り組んでいきたいことは会議など発表や連携の場を活用し、市内・市外含め、不登校児童に対する「官・民一体」的な包括的支援を行っていきたいと考えています。



寄付協力について

個人・企業・団体様よりご寄付・協賛を募りました。多数ご協力をいただきました。ありがとうございました。

2018年度の寄付・協賛の個人様（寄贈順）



八戸市 類家順子様



トータルプロディースモコ様



山形県 金子ゆかり様

2018年度の寄付・協賛の企業・団体様（寄贈順）



日本トーター株式会社様



青森競輪場様



しんまち眼科様

2018年度の寄付・協賛の企業・団体様（寄贈順）



青森北東ロータリークラブ様

ご寄付とご賛同くださいまして誠にありがとうございました。



山ニビル助成

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

2018年度フリースクール準備室「あおもりサニーヒル」は、
「独立行政法人福祉医療機構」からの助成金を受け運営いたしております。

あおもりサニーヒル連絡先

〒030-0801

青森県青森市新町 2-7-17 山ニビル 1 階

NPO 法人コミュサーあおもり内サロンスペース

電話番号 080-5736-2442

FAX 番号 017-752-0942

E-mail komyusa.hidamari@gmail.com

ホームページ <https://komyusa-hidamari.jimdofree.com/>



NPO法人
コミュニサーあおもり

ホンキで応える『世話焼き集団』